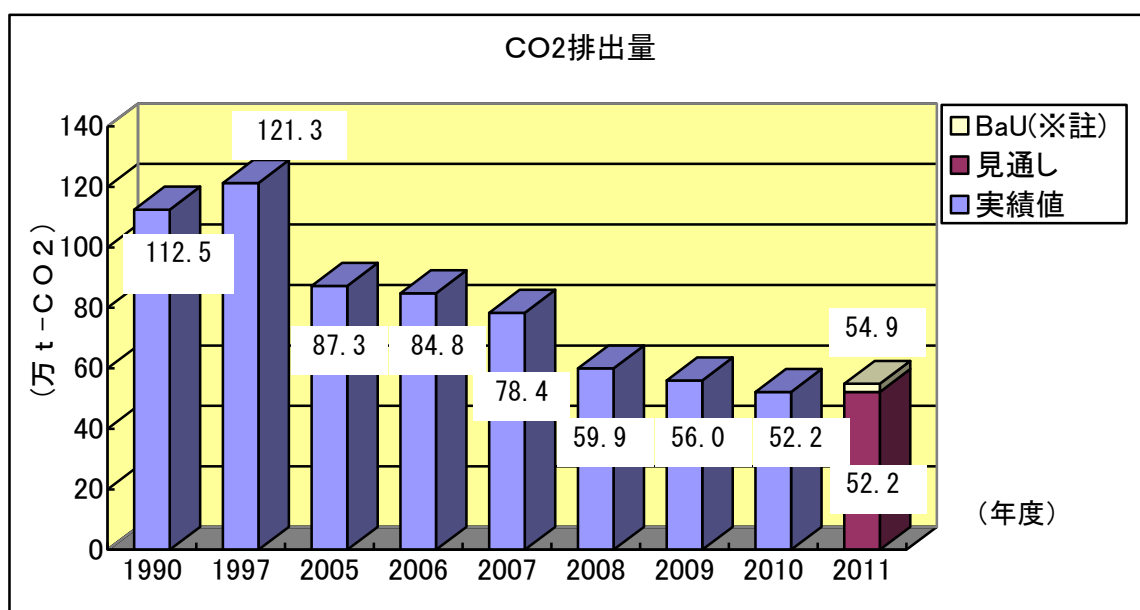


## 【概要】ビール業界におけるCO2排出量削減の取組みについて

ビール酒造組合

1. ビール業界は、日本経団連環境自主行動計画へ1996年の開始と同時に参画し、ビール各社は環境関連への設備投資を前倒しで実施する等、温暖化対策に向けた省エネルギーおよびCO2排出量削減の施策・活動に積極的に取り組んできた。
2. 1990年度112.5万tであったビール業界のCO2排出量実績は、1997年度の121.3万tをピークにその後連続して減少し、2009年度は56.0万t（対1990年度比50.2%削減）、2010年度では52.2万t（対1990年度比53.6%削減）となった。

ビール業界CO2排出量推移1990-2010年



※註； BaU・・・対策を取らなかった場合の予測値（Business as Usualの略）

### 3. ビール業界のCO2排出量削減活動における目標

2008～2012年度のビール工場における発泡性酒類（ビール類）生産時の平均CO2排出量を1990年度比で10%削減する（5年平均排出量を101.3万トン/年とする）。

※本目標は、2008年にそれまでの目標6%削減から上方修正し設定した。

4. 目標値の設定にあたり、鋭意懸命なCO2削減方策展開によって、該当5年間（2008-2012年）の平均としてビール5社全てが達成することが可能な削減率を根拠とした。
5. ビール業界は、CO2削減・省エネルギーへの設備投資を、可能な限り前倒しで積極的に実施し、CO2排出量原単位指数を1990年を1とすると2010年には0.51まで改善した。

ビール業界CO2排出原単位指数推移1990-2010年

年度	90	97	05	06	07	08	09	10
原単位指数	1.00	0.99	0.79	0.78	0.73	0.57	0.54	0.51

6. 今後に向け、ビールの需要喚起施策による販売数量の増加に伴う生産量の変動、震災による産業構造への影響等を見込みつつも、2008～2012年度の平均目標をビール5社共に確実に達成するとともに、2013年から始まる日本経団連低炭素社会実行計画に参画し、CO2削減・省エネルギーの取組みを今後も継続していく。

以上